

〔抄 録〕

## 石川県民の「心の健康」に関する調査 — 10年前との比較検討 —

石川県保健環境センター 企画情報部 安田 優子・初瀬 裕

キーワード：こころの健康，比較検討，自殺

北陸公衆衛生学会誌，41（2），32-38，（2015）

平成10年以降の全国的な自殺者数急増を受けて，当センターでは平成14年に県内居住の一般住民2,000人を対象に，自殺の関連要因であるストレス等の現状調査を行った。平成26年は新たに精神疾患に関する意識調査項目を追加し再調査を行った。

2回共通の調査内容は属性に関する6項目，精神健康度測定のための30項目，生活状況把握のための21項目であり，平成26年の今回は，精神疾患に関する10項目を追加して実施した。なお，精神健康度測定のための項目は日本語版GHQ30を使用した。

その結果，平成14年に比較して県民の心の健康状態は

やや改善の傾向が見られた。また，精神疾患に関する意識調査では男性に対し女性の方が心の健康問題に関心が高く，関連講座への参加意欲も高いこと，男性は日常的にぐちをこぼす相手が少なく，他者に助けを求めることにためらいを感じるものが多いなどいくつかの項目で男女間に差が見られた。また，症状があっても医療機関を受診しない理由として「行くのが面倒」，「放っておけば治る」の回答が多く，ゲートキーパーの認知度は低い値に留っていた。これらのことから，早期発見早期治療の大切さを周知するなど一般県民に対する一層の普及啓発活動が必要であると思われた。